

# 東部森林 組合だより

令和5年6月 No.104



発行 鳥取県東部森林組合  
〒680-0947 鳥取市湖山町西1丁目328-2  
TEL 0857-28-5751 FAX 0857-28-9180  
E-mail:info@toubushinrin.com

## Contents

●令和5年度 第44回通常総代会を開催／提出議案	1
●令和5年度 第44回通常総代会あいさつ要旨	2
●令和4年度貸借対照表	2
●令和4年度事業実績、令和5年度事業計画、損益計算書、剰余金処分案	3
●令和5年度主要事業の数値目標	3
●新任のご挨拶 常務理事 村上 哲朗	4
●新日本海新聞社「海潮音の森」で協働植樹	4
●福岡・大川家具工業会との協働植樹	4
●岩美町で開催された鳥取県植樹祭に協力	5
●鳥取県山林樹苗協同組合とセンダンを植栽	6
●「阪神・淡路大震災追悼のつどい」へ竹灯籠を提供	6
●高性能林業機械ハーベスタとグラップル付トラックを導入	6
●とっとり林業就職相談会に参加	7
●新人職員・技能員の紹介	7
●組合員への「チェーンソー講習会」を開催	8
●鳥取県東部森林組合組織図	8
●お知らせ(相続加入等・組合員のメリット)	8

## 令和5年度 第44回通常総代会を開催

令和5年3月28日、第44回通常総代会を「とりぎん文化会館」で開催しました。

当日は、現在総代数214名のうち、本人出席70名、書面議決89名、委任状6名、合計165名の出席を得て、第1号議案「令和4年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、付属明細書の承認について」から第6号議案「役員を選任について」まで、いずれも原案どおり可決・承認されました。



嶋沢組合長の開会のあいさつ

### 第44回通常総代会 提出議案

- 第1号議案  
令和4年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、付属明細書の承認について
- 第2号議案  
令和5年度事業計画の設定について
- 第3号議案  
令和5年度理事及び監事の報酬額の決定について
- 第4号議案  
令和5年度中の借入金最高限度額の決定について
- 第5号議案  
令和5年度余裕金預入先金融機関の決定について
- 第6号議案  
役員を選任について
- その他  
株式会社東部林業の経営報告について

# 令和5年度 鳥取県東部森林組合 第44回通常総代会 あいさつ要旨 (令和5年3月28日)

代表理事組合長 嶋沢 和幸

## 1 はじめに

本日は、総代の皆様にはお忙しい中、令和5年度第44回通常総代会に出席いただき、厚くお礼申し上げます。また、皆様には組合事業の推進につきまして、日頃から御支援・御協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

## 2 森林・林業を取り巻く状況

今、SDGs、カーボンニュートラルの目標達成、ウッドショックを契機とした国産材への転換・国産材の増産・安定供給など森林・林業に対して期待が高まっております。

この期待に添えていくためには、今、半分以上が50年生を超え、本格的な利用期を迎えているスギ・ヒノキの人工林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」という循環型林業（主伐・再造林）を進めていくことが重要であります。

本組合では令和2年度から搬出間伐に加え、主伐・再造林に積極的に取り組んでいるところです。また、主伐・再造林では、花粉の多いスギ・ヒノキを伐って、花粉の少ないスギなどの苗木を植えており、花粉症対策にも繋がっております。

## 3 令和4年度事業実績

主伐・再造林に積極的に取り組んだ結果、令和4年度の素材生産量は10年前の約8.2倍となる

47千㎡、再造林面積は39haとなり、いずれも過去最高を更新しました。また、搬出間伐事業での組合員皆様への利益還元（返金）額は約26百万円（1haあたり約18万円）、主伐・再造林事での組合員皆様への利益還元（返金）額は約27百万円（1haあたり約80万円）となりました。

令和4年度の総事業取扱高は10年前の約2.3倍となる1,460百万円となり、過去最高を更新しました。また、本業の儲けである事業利益も前年度と同程度の約21百万円を確保できました。

このように、素材生産量と再造林面積、総事業取扱高が大きく増加し、過去最高を更新できましたことは、組合員皆様の御支援・御協力と職員・現場技能員の功績が大きいものと考えております。

## 4 令和5年度事業計画

組合員皆様の更なる御支援・御協力をいただきながら、主伐・再造林事業を中心とした事業の拡大に積極的に取り組んで参ります。

具体的な数値目標として、大きな節目となる素材生産量5万㎡、総事業取扱高15億円の達成に向けて全力で取り組んで参ります。

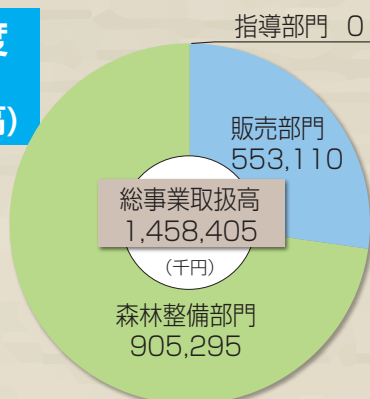
## 5 結びに

今後とも「事業利用を通して、より多くの組合員皆様へ、より多くの利益還元（返金）」、「組合事業の担い手である職員・技能員の労働環境の更なる改善」、「組合の経営基盤の更なる強化」を基本方針として、組合一丸となって事業を推進して参りたいと考えておりますので、引き続き、組合員皆様の御支援・御協力をよろしくお願い致します。

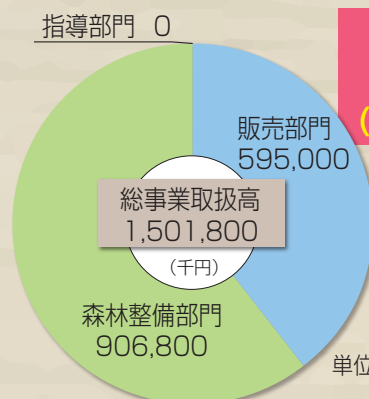
令和4年度貸借対照表

科目		金額	科目		金額
流動資産	現金	95	流動負債	買掛金	187
	預金	246,117		未払金	71,594
	売掛金	76		未払金法人税等	8,380
	棚卸資産	2,106		前受金	40,188
	前払費用	57,137		預り金	16,547
	未収金	195,215		仮受金	544
	貸倒引当金	△ 1,217		流動負債計	137,440
	前渡金	4,664	固定負債	退職給付引当金	68,931
	差入保証金	100		固定負債計	68,931
	仮払金	5,168		固定負債計	68,931
	雑資産	10	負債合計	206,371	
	流動資産計	509,471	純資産	出資金	113,792
	固定資産	建物		74,846	法定準備金
建物付属設備		5,108		損失補てん積立金	50,000
構築物		4,300		高性能林業機械積立金	192,000
機械装置		23,836		技能員作業場兼組合倉庫等整備積立金	50,000
車輛運搬具		0		当期剰余金	16,662
工器具備品		2,774		前期繰越剰余金	2,666
土地		59,089		資本準備金	1,825
森林		2,112		純資産合計	543,745
ソフトウェア		953		純資産合計	543,745
外部出資		21,320		負債・純資産合計	750,116
差入敷金		340			
貸倒引当金		△ 2			
農林年金長期前納負担金		34,601			
退職給与積立金	11,368				
固定資産計	240,645				
資産合計	750,116				

**令和4年度  
事業実績  
(総事業取扱高)**



**令和5年度  
事業計画  
(総事業取扱高)**



単位：千円

科目	金額	備考
事業総損益		
収益	1,458,405	
費用	1,377,694	②
事業総利益	80,711	③ = ① - ②
事業管理費	59,902	④
事業利益	20,809	⑤ = ③ - ④
事業外損益		
事業外収益	3,531	⑥
事業外費用	2,774	⑦
事業外損益	757	⑧ = ⑥ - ⑦
経常利益	21,566	⑨ = ⑤ + ⑧
特別損益		
特別利益	11,699	⑩
特別損失	9,886	⑪
特別損益	1,813	⑫ = ⑩ - ⑪
税引前当期利益	23,379	⑬ = ⑨ + ⑫
法人税及び住民税	6,717	⑭
当期剰余金	16,662	⑮ = ⑬ - ⑭
前期繰越剰余金	2,666	⑯
当期末処分剰余金	19,328	⑰ + ⑯

適用	内訳	小計	合計
I 当期末処分剰余金			19,328
1 当期剰余金		16,662	
2 前期繰越剰余金		2,666	
II 剰余金処分子額			16,400
1 法定準備金		3,400	
2 任意積立金		13,000	
① 高性能林業機械等積立金	3,000		
② 技能員作業場兼組合倉庫等整備積立金	10,000		
III 次期繰越剰余金			2,928

**1 高性能林業機械等積立金**

- (1) 積立目的 当組合の所有する高性能林業機械等の将来において更新・修繕等に備えるため。
- (2) 積立目標額 250,000,000円
- (3) 積立基準 毎事業年度の剰余金処分子額において、高性能林業機械等に必要経費に充当する額を積立てる。
- (4) 取崩基準 高性能林業機械等の更新・修繕等により決算に重要な影響を与える年度において取崩す。

**2 技能員作業場兼組合倉庫等整備積立金**

- (1) 積立目的 技能員がチェーンソーや刈払機の保守点検・修繕等を行う場と組合の倉庫・書庫等を兼ねた施設の整備に備えるため。
- (2) 積立目標額 60,000,000円
- (3) 積立基準 毎事業年度の剰余金処分子額において、必要な費用に充当する額を積立てる。
- (4) 取崩基準 技能員作業場兼組合倉庫等の整備により、決算に重要な影響を与える年度において取崩す。

**令和5年度の主要事業の数値目標**

事業名		令和4年度実績 (A)	令和5年度計画 (B)	前年度対比 (%) (B)/(A)	
植栽	再造林 (ha)	39	56	144%	
	松くい虫被害跡地整備 (ha)	12	5	42%	
	竹林整備 (ha)	10	13	130%	
	センダン (ha)	3	6	200%	
	計	64	80	125%	
素材生産	主伐 (皆伐)	面積 (ha)	43	60	140%
		材積 (m³)	28,704	35,000	122%
	搬出間伐	面積 (ha)	218	185	85%
		材積 (m³)	17,812	15,000	84%
	計	面積 (ha)	261	245	94%
		材積 (m³)	46,516	50,000	107%

## 新任のご挨拶



常務理事  
村上 哲朗

今年の3月29日の総代会及び4月3日の理事会において、常務理事に選任いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

私は、35年間勤務した鳥取県庁在職中に、県産材の生産・利用の拡大を担当する県産材・林産振興課長、中部・日野地域の生産現場に近い事務所、さらには林業試験場において、林道・作業道の整備、間伐材の搬出、林業に携わる技能員の研修支援などの森林・林業・木材産業の振興対策に取り組んで参りました。この間、培った知識・技能・人脈を活かして、東部森林組合の令和5年度の大きな目標である「素材生産量5万m<sup>3</sup>」「総事業取扱高15億円」の達成に向けて、全力で取り組んで参る所存です。

近年、SDGsをきっかけに、環境問題がさらに注目を集め、森林・林業にも大きな期待が寄せられています。今年度に入り、岸田総理が花粉症対策に関する閣僚会議において、①スギ伐採などの発生源対策②花粉の飛散対策③花粉症の発症対策の「対策3本柱」の速やかな実行を指示されました。この動きに先立ち県内では、花粉量が少なく成長が良いスギ・ヒノキのエリートツリーのコンテナ苗の生産が、昨年からは始まっています。

東部森林組合は県内でいち早く「主伐・再造林」に取り組んでいる森林組合です。主伐・再造林事業を中心とした事業の拡大と組合員皆様への利益還元増大に向けて、職員・技能員と一丸となって、しっかりと取り組んで参ります。

組合員皆様には、今後とも組合事業の更なる推進について、御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 新日本海新聞社

### 「海潮音の森」で協働植樹

令和5年3月12日に鳥取砂丘オアシス広場の北側隣接地にある「海潮音の森」において、「とっとり共生の森」森林保全活動の一環として、(株)新日本海新聞社・日本海ケーブルネットワーク(株)の職員・家族の皆さん約80名と一緒に、松くい虫被害に強い抵抗性クロマツの苗木270本を植えました。

当日は、(株)新日本海新聞社・日本海ケーブルネットワーク(株)の職員・家族の皆さんに加え、「鳥取マラソン2023オンライン」のランナーなど総勢76名も参加されました。

今は樹高30センチほどの苗木ですが、今後、皆さんと一緒に大切に育てながら、飛砂や風による被害を防ぐ森林になるよう、見守っていきます。

〈文責：整備課課長補佐 田中優二〉



嶋沢組合長のあいさつ



参加者全員 (画像提供：(株)新日本海新聞社)

## 福岡・大川家具工業会との協働植樹



植樹状況

令和5年3月20日、鳥取市香取地内の荒廃農地(面積0.17ha)において、4回目となる福岡・大川家具工業会とセンダンの協働植樹を行いました。

当日、福岡・大川家具工業会から4名が来県され、今回は通販事業大手の(株)デインスからも2名に参加いただきました。本組合からは嶋沢組合長、地元選出の森本理事ほか職員7名が参加し、総勢15名で苗木約50本を植樹しました。

今回植樹したセンダンも、今まで組合管内で植樹したセンダンと同様、福岡・大川家具工業会で加工され家具として全国に出回ることを目指し、適切な管理を行っていきます。

〈文責：整備課課長補佐 田中優二〉



参加者全員

# 岩美町で開催された鳥取県植樹祭に協力

令和5年5月13日、岩美郡岩美町の大谷海岸で第67回鳥取県植樹祭が開催され、300人の方が参加されました。今回のテーマは『海まで届け緑の力』で、「森林の役割や大切さ」と「森・川・海のつながり」を伝える植樹祭となりました。

本組合も記念式典及び現地見学会に参加・協力を行い、主催した県からは、「準備だけでなく、式典・見学会に森林組合の参加・協力をいただいたことは、今までになく新しい形での植樹祭となり、大変良かった。」と、高い評価を受けました。

式典の中で、本組合の栗田技師が「森林・みどりの想い」を発表しました。本組合の栗田技師（林産一課 新人職員（フページ）で紹介）は岩美町出身で、口頃から組合員の皆さんの所へ出かけ、施業を提案する「森林施業プランナー」として活躍していることから、白羽の矢が立ったものです。

栗田さんは、「森の土壤に含まれる様々な物質は森からの豊かな贈り物であり、川を通じて海に運ばれ魚の餌となります。このことが、『森は海の恋人』と言われる所以です。式典終了後『海を育てる森づくり見学会』が行われる岩美町相山では、花粉の多いスギを伐り花粉の少ないスギの苗木を植える取り組みを行っています。相山は海から遠く離れていますが、蒲生川

第67回 鳥取県植樹祭



栗田技師の発表

鳥取県植樹祭



長戸町長のあいさつ

第67回 鳥取県植樹祭



平井知事のあいさつ

を通じて岩美の海を豊かにすることに繋がっています。私は、自然豊かな岩美町で生まれ育ち、進学をきっかけに岩美町を離れましたが、昨年から鳥取県東部森林組合で勤務しています。今後も『豊かな森づくりが豊かな海づくり』に繋がっていくことを、心から願いながら森林組合での仕事を続けていきたいと考えています。」と、力強く発表しました。

また、代表植樹には地元岩美町の長戸町長、嶋沢組合長（鳥取県森林組合連合会会長）が参加して行われ、鋸で丸太を切る「収獲鋸入れ」は地元の小学生4名が行い、本森林組合の技能員4名もその介添えとして協力しました。

さらに、岩美町相山に場所を移しての「海を育てる森づくり見学会」（参加者13名）では、高性能林業機械ハーベスタによる伐倒・造材現場を見学していただいたのち、少花粉スギの植樹を行いました。

〈文責〉常務理事 村上哲朗



ハーベスタによる伐倒・造材作業を見学



収獲鋸入れ



## 鳥取県山林樹苗協同組合と センダンを植栽



嶋沢組合長と藤原理事長

令和5年5月25日、鳥取市瀬田蔵地内の荒廃農地に、昨年、本組合が行ったセンダンの造林地において、鳥取県山林樹苗協同組合（理事長 藤原眞澄）と協働植樹（補植）を行いました。

今回の植樹は、荒廃農地に植栽したセンダンの研修も兼ねており、県からも八頭事務所や今年度から耕作放棄地へのセンダン等の植栽に関する試験研究を実施している林業試験場から参加がありました。藤原理事長のあいさつに続き、嶋沢組合長から東部森林組合の取り組みや、木目や材質がケヤキに似ているセンダンが家具材として注目を集めていることなどを説明した後、参加者20名でセンダン64本を植樹しました。

そして植樹終了後には、周辺にある令和2年度及び3年度のセンダン造林地を視察しましたが、枝下までの樹高を実測（3・2m）した際にはその成長の早さに驚きの声がかれました。

本組合としては、今後も家具材としてのセンダンの生産に向け、その苗木の供給を担う苗木生産者との連携・協力を引き続き進めていきます。

〈文責：常務理事  
村上哲朗〉



令和2年度のセンダン造林地

## 「阪神・淡路大震災追悼のつどい」へ 竹灯籠を提供



500本の竹灯籠を提供

平成7年1月17日に発生した、阪神淡路大震災の犠牲者を追悼する「1・17のつどい」が神戸市中央区の「東遊園地」で毎年開催され、竹灯籠や紙灯籠を使って「1・17」の文字と毎年公募によって決まった追悼の文字を浮かび上がらせています。震災発生から28年となる今年には「1995 むすぶ！ 17」の文字が形作られました。

本組合では、2年前から新型コロナウイルスの拡大の影響で、文字をかたどるための竹灯籠が不足しているという新聞記事を見て、「1・17のつどい」に協力するため、組合で行っている竹林整備で伐採した竹を竹灯籠に加工して提供することを実行委員会に申し出て、今回で3回目の提供となります。

令和4年12月26日から28日にかけて、岩美町黒谷と岩美町延興寺の現場で3日延べ12人の技能員が伐採と加工を行い、令和5年1月10日に実行委員会が手配したチャーター便に職員が積み込み、500本の竹灯籠の発送を行いました。

今後ともこうした行事への協力を通じて、震災の犠牲となられた方々への追悼の思いや「きずな 支え台こころ」やさしさ・思いやり」の大切さを次の世代へ繋いでいくために、竹灯籠の提供を続けていきたいと考えています。

〈文責：経営課主任 濱田洋輔〉



トラックに積み込む竹灯籠

## 高性能林業機械ハーベスタと グラップル付トラックを導入

組合では、この度、主伐や間伐における木材の生産性の向上や生産量の拡大を図るため、高性能林業機械のハーベスタとグラップル付トラックを導入しました。



ハーベスタとは、立木の伐倒や枝払い・造材の各作業を一貫して行うことができる装置をバックホウに装着した林業機械で、素材生産においては欠かすことのできない安全で高い生産性を持った機械です。

【事業名】  
鳥取市台板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業

- ・事業費 21,500千円
- ・補助金 10,750千円

### （グラップル付トラック）

11年前に導入し老朽化が進んでいた8トントラックを更新し、グレイドアップした22トンクラスのグラップル付トラックの導入により、一度に積載・運搬できる木材の量が増加し、今後のより一層の素材生産量の増大に向けて、安全で安定した木材運搬が可能となります。



【事業名】  
鳥取市林業成長産業化地域創出モデル事業

- ・事業費 31,200千円
- ・補助金 13,038千円

今後、計画的な高性能林業機械の導入や更新を行いながら、主伐や搬出間伐での生産性向上と素材生産量の増大を図って参ります。

〈文責：経営課主任 濱田洋輔〉

## とっとり林業就職相談会に参加



令和5年5月17日（東部地区）、24日（中部地区）で開催された「とっとり林業就職相談会」に、本組合から濱田主任と澤技能員が参加し、来場者の相談に対応しました。

「とっとり林業就職相談会」とは、今回初めて公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団と各地区公共職業安定所（ハローワーク）との共催で開催され、県内の地区別に森林組合や民間事業者、教育機関が参加して、林業に興味を持っている学生や、鳥取県へ移住を考えている社会人を対象に、林業の仕事内容の説明や事業者ごとに個別で就職相談を行うイベントです。

イベントでは、事業体別の就職相談のほかに、実際に現場で働く従業員に来場者が仕事内容について質疑応答を行う「コーナー」もあり、参加者は現場の声に熱心に耳を傾けていました。

今年度は令和6年1月に米子市で全県を対象にした「森林の仕事ガイダンス」も予定されており、今後このようなガイダンスや相談会に加え、高校が主催する企業説明会等へ積極的に参加し、職員や現場技能員の確保と鳥取への移住定住者の増加につなげていきたいと考えています。

〈文責：経営課主任 濱田洋輔〉



倉吉会場（倉吉未来中心）



鳥取会場（ハローワーク鳥取）

## 新人職員・技能員の紹介

### 事務職員

○令和5年5月1日付 採用

#### 総務課

西本 友美（鳥取県出身）

「前職でも事務員をしておりましたが、未経験のことでも多く日々勉強の毎日です。事務所の雰囲気も良く、優しく指導していただき感謝しております。1日でも早く仕事を覚えて組合のお役に立てるよう頑張ります。」

### 技術職員

○令和4年12月1日付 採用

#### 林産一課

栗田 憲子（鳥取県出身）

「入組以来、事務所・現場の方々の暖かいご指導のもと日々業務に取り組んでおります。皆様には大変丁寧に教えていただき大変感謝しております。今後ともご期待に添えるよう懸命に努力して参りますので何卒宜しくお願い致します。」

### 技術職員

○令和5年1月10日付 採用

#### 林産二課

猪本 享佑（鳥取県出身）

「前職は接客業をしており林業は未経験ですが、毎日色んな発見も多くあり、楽しんで仕事ができっております。日々新たな業務へのチャレンジですが、少しでも早く仕事を覚えて業務ができるように努めます。」

### 現場技能員

○令和5年4月1日付 採用

#### 林産一課

宮階 智大（兵庫県出身）

「前職から林業に携わっており、この度、ご縁があつて入社することになりました。今までの経験を活かしつつ、先輩方の技術を勉強して1日でも早く戦力になれるように頑張っていきます！」

### 現場技能員

○令和5年4月1日付 採用

#### 林産二課

川下 翼（鳥取県出身）

「父の影響で中学の時から林業に興味があつたことから、高校の林業課・にちなん林業アカデミーで林業について学んできました。わからないことがまだまだありますが、班の方々からやり方、なぜそうなるのかをたくさん学んで、班や組合に貢献できるように頑張ります。」

### 現場技能員

○令和5年4月1日付 採用

#### 整備課

三村 匠（鳥取県出身）

「今年から新社会人となり、社会人としても技能員としても覚えることが沢山ありますが、早くと班の戦力となるように、日々全力で頑張っていきます。」

組合員への「チェーンソー講習会」を開催

本組合の技能員が講師となり、令和5年3月23日に組合員の方5名に対し、「鳥取県森林組合連合会」で栗田亮班長代理、向井康二班長代理の2名が講師としてチェーンソーの取扱いの指導を行いました。



目立て指導する向井班長代理

チェーンソー講習会は、消防隊員や機動隊員の方々を対象に実施していましたが、組合員の方も、山で間伐やシイタケ原木となるクヌギやコナラを伐ったりすることがあることから、「チェーンソーのメンテナンスや安全な木の伐り方を学びたい。」との要望があり、この度、初めて組合員を対象としたチェーンソー講習会を開催しました。

組合員の方々には、普段使用しているチェーンソーを持ってきてもらい、講師からチェーンソーの構造について説明を受けたあと、チェーンソーの目立てやメンテナンス、安全な木の伐り方等について指導を行いました。

講習では、皆さんが真剣な表情で取り組んでおり、「チェーンソーの目立てが大変勉強になった。」「普段使った

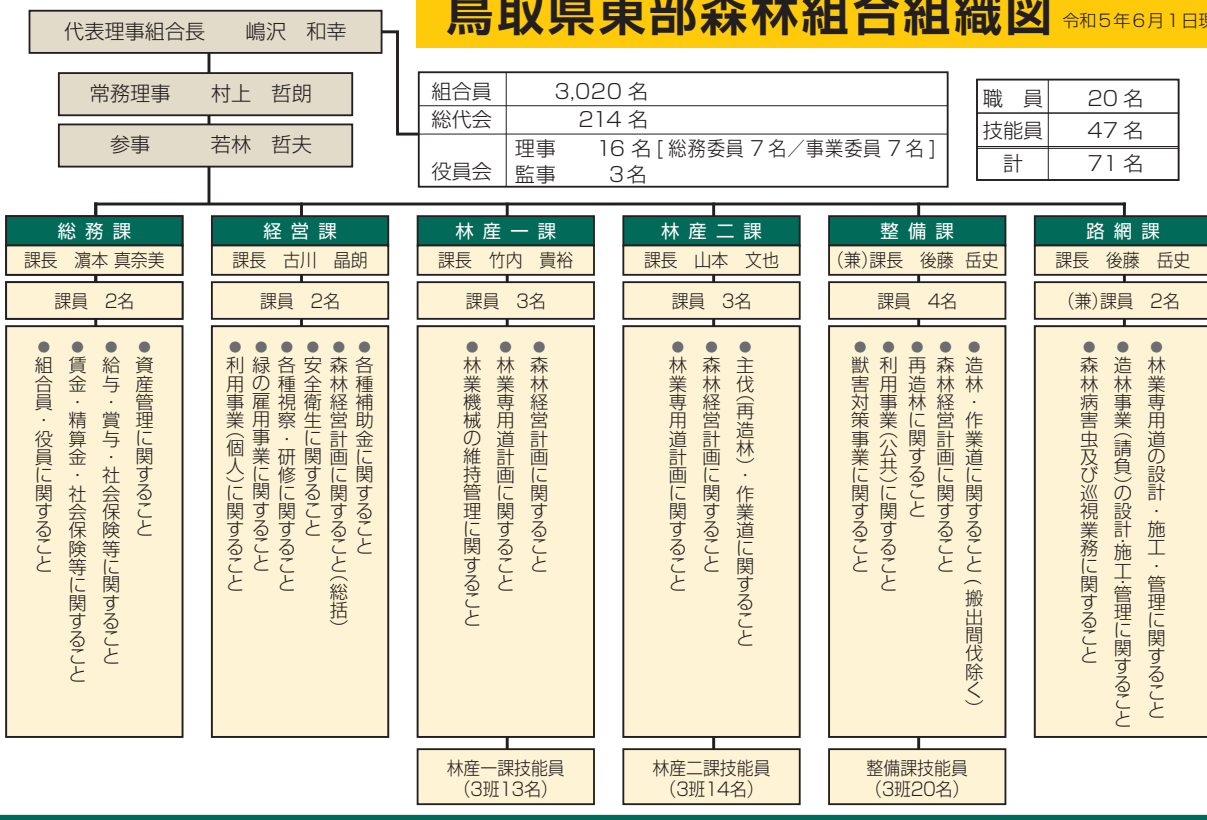


安全な伐倒方法を指導する栗田班長代理

らそのまま掃除をしていたので、掃除の仕方が分かって良かった。」「安全な伐り方が学べて大変参考になった。今後講習会をお願いしたい。」と話されており、とても有意義な講習会となりました。

今後も、組合員皆様のご意見・ご要望をお聴きし、こうした取り組みを続けていきたいと考えています。〈文責：経営課長 古川晶朗〉

鳥取県東部森林組合組織図 令和5年6月1日現在



お知らせ

★相続加入届等の提出について

組合員の相続人の方で  
 ①引き続き組合員になられる方は相続加入届出を相続開始後2年以内に提出してください。  
 ②脱退をされる方は脱退届を事業年度末(1月31日)の60日前までに提出していただき、総代会終了後に脱退することができます。

★組合員加入のメリット

- ①「組合だより」「組合カレンダー」の配布等により森林林業に関する情報やサービスを受けることができます。
- ②搬出間伐等の施業を組合に委託し行う場合、手数料率が低くなります。(18%→12%)
- ③竹林整備事業や松くい虫被害跡地整備事業、早生樹(センダンなど)植栽事業による植栽や下刈などを行う場合、組合からの助成金により負担がなくなります。
- ④主伐・再造林事業で、組合がスギ・ヒノキの人工林の伐採と植栽、下刈の各作業を括して委託を受けた場合、組合から1haあたり50万円以上の利益返金が受けられます。

